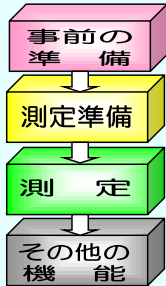


1 概要



2 事前の準備



VX(上部コネクタ)と探触子(トランスデューサー)をケーブルで接続する。



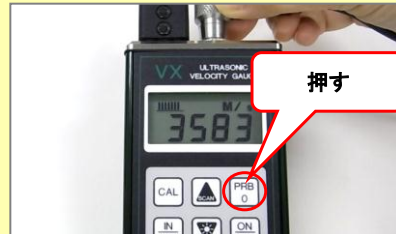
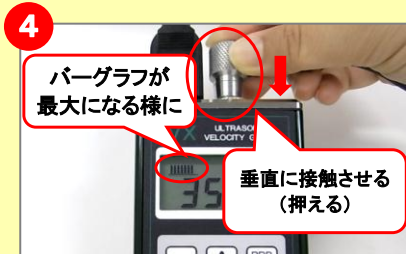
「ON/OFF」キーを押し電源を入れる。
※何も操作しないしていると、約5分で自動的に電源が切れます。

3 測定準備 (零点調整・音速の校正) ※より正しい測定値を測る為に調整を行ってください

3 零点調整

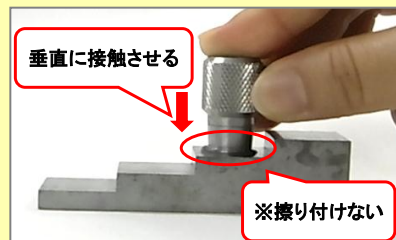


接触媒質(カプラント)を本体上部の零点調整用試験片に少量塗布する。
※超音波が空气中を非常に伝わりにくいという性質がある為、必ず塗布してください。

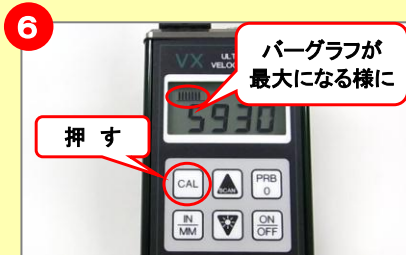


接触媒質(カプラント)を塗布した零点調整用試験片にトランスデューサーを接触させる。
バーグラフが最大になっていることを確認し、「PRB0」キーを押す。この状態が零点(基準)になります。
※零点調整によりゼロが表示されるわけではありません。表示される数値に意味はありません。

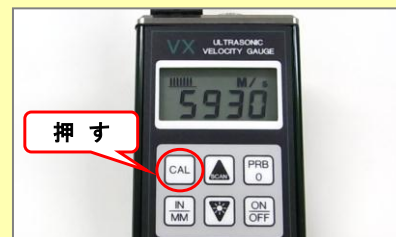
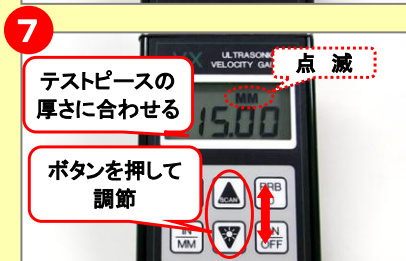
音速の校正(キャリブレーション) 1点校正



測定物と同じ材質で厚さが既知のテストピースを準備する。
テストピースに接触媒質(カプラント)を少量塗布し、トランスデューサーを接触させる。



バーグラフが最大になっていることを確認し、「CAL」キーを押す。
音速が表示される。
「CAL」キーを押す。



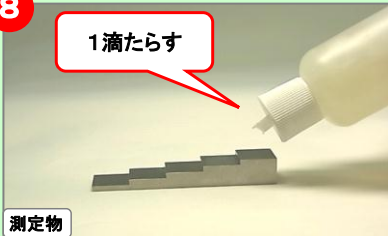
「▲▼」キーで(既知の)テストピースの厚さに合わせる。
「CAL」キーを押して厚さを確定する。
音速が表示される。

4

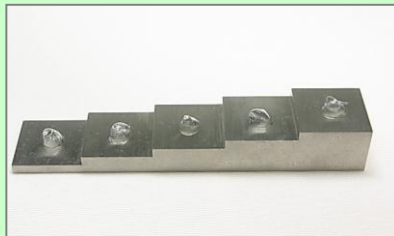
測定

8

1滴たらす



測定物



測定物に接触媒質(カプラント)を少量塗布する。

9

垂直に接触させる



※擦り付けない

(例)測定物 厚さ:15mmの場合



バーグラフが最大になる様に

対象物の音速

(零点調整と同様に)バーグラフが最大になる様にトランスデューサーを接触させ、測定を行う。

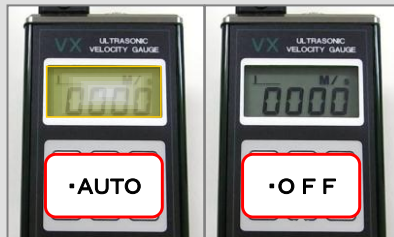
5

その他の機能

バックライト



押す
(押す度に切り替わる)



バックライトキーを押す度「AUTO/ON/OFF」が切り替わり、LCDディスプレイを明るくできる。作業環境によってお選び下さい。

表示単位



押す



「IN/MM」切り替わる

「IN/MM」キーを押す度「IN(インチ)」と「MM(ミリ)」の単位が切り替わる。

□ スキャンモード □

連続測定を行って最小の厚さのみを表示したい場合は「SCAN」キーを押す。
1秒間に16回更新され、トランスデューサーを離すと最小値が表示される。



音速一覧表

□ 各材質の音速一覧表 □

材 質	音 速
アルミニウム	6,350
鋼	5,920
ステンレス	5,664
鑄鉄	4,572
プレキシガラス	2,692
ポリ塩化ビニル	2,388
ポリスチレン	2,337
ポリウレタン	1,778